



1. 出土した19世紀の煉瓦遺構を活用した広場
2. 大階段見上げ
3. 別館の地下ライブラリープラザ

実現している。東京大学は過去の成り立ちから各学部の独立性が高いが、そのなかで、図書館は唯一全学を統合する拠点である。しかし、近年利用率の低下が進み、一方で蔵書の増加によりスペースの不足という課題を抱えていた。並行してキャンパスマスタープランも長期にわたり検討が進み、今回の計画地はその

の二丁目一番地であった。このような総合的な観点から、既存の名建築を丁寧な補強・保存をしながら、地下に三〇〇万冊収蔵の自動書架を埋め、新たに学生活動の場、交流の場として再編されていた。また、地下化したことで前庭空間をしっかりと保存し、歴史を次世代に継承している。

一九二八年竣工の本館は歴史的建築物であり、途中様々な改修が行われ、また学生運動の時代に照明や絵画などがとり外されたものもある。今回の耐震改修に伴い、戦前の歴史資料（写真や図面）に

もとづき、極力創建当初に復元しようとする努力が見受けられた。資料が見つからないものは想像では対応しない方針として新たに採用している。今回の改修を行うことで、レガシーとして次の世代に引き継いでいこうとする工夫が随所にみられた。別館は最深部が地下四六層の鉄筋コンクリート構造物であり、土木技術であるニューマチックケーソン工法によって施工している。一〇〇一五層を地上で構築してから地下に沈める工程を繰り返すことにより施工している。地下建築の最大の課題は止水であるが、地下水位GL一八・五層にたいして三段階の浸水対策を施している。最外部に止水用

鋼板を施工し、溶接部はすべて真空箱検査を実施している。次に、低熱・中庸熱セメントを採用してひび割れを抑制している。最後にバッファゾーンを設けて外壁からの漏水防止をしている。地下一階部分には、最も騒々しい交流の場を目指した円形劇場を設けている。コロナ禍でまだまだ活用は進んでいないが、今後、様々な活動が活発に行われ、交流が生まれることが期待される。



日建連表彰2022



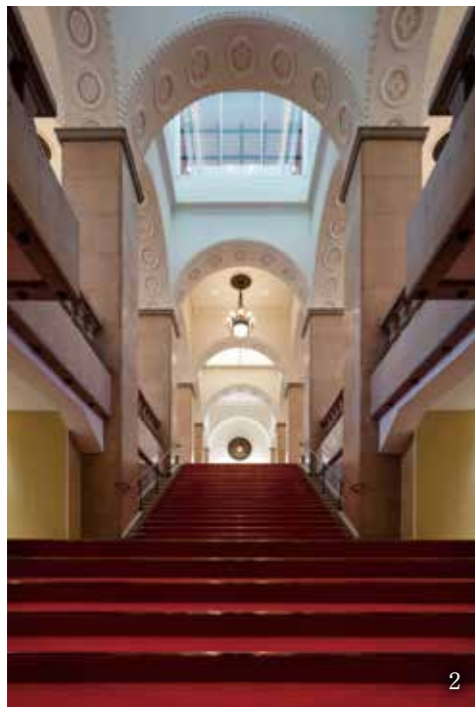
第63回BCS賞

# 東京大学総合図書館

選定理由 【選考委員】

中島 肇・安田俊也・松村正人

旧図書館（本館、一九二八年竣工、設計：内田祥三）の再生と既存建物に囲まれた前面広場下に埋め込まれた地下四六層の深さをもつ別館が相互補完する知の拠点整備プロジェクトである。本館および前面広場は、正門から安田講堂へいたる軸線と直交するキャンパスの主要景観である歴史軸を構成している。そのようなロケーションのなかで、図書館のもつ本質的な機能の変化や研究資料のデジタル化などにたいし、新しい時代に応答する図書館像をどのように実現するのか、また、学生が生き生きと活動できる空間をどのように生み出していくかが課題であったが、歴史的景観と現代的空間が重なり合うことにより、本館を保存改修し、前庭空間の地下に別館として新築するという解を



## 東京大学総合図書館 概要

- 所在地 東京都文京区本郷7-3-1
  - 建築主 国立大学法人 東京大学
  - 設計者 東京大学キャンパス計画室・同施設部、(有)香山建築研究所、清水建設(株)
  - 施工者 清水建設(株)
  - 竣工日 2021年1月31日
- 敷地面積 304,880㎡
  - 建築面積 本館改修：8,502㎡  
別館：1,397㎡
  - 延床面積 本館改修：41,767㎡  
別館：5,752㎡
- 階数 本館改修：地上5階、地下1階  
別館：地上1階、地下4階
  - 構造 本館改修：鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄筋コンクリート造、鉄骨造  
別館：鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造



詳細や他の写真などは左記の二次元コードからWebページにアクセスしてご覧ください。



俳優の高橋克典さんがプロジェクトを紹介する「けんせつ」のチカラをYouTubeにて公開中です。左記二次元コードよりぜひご覧ください。

《日建連表彰2022 第63回BCS賞受賞作品》 熊本城特別見学通路／熊本市計画桜町地区第一種市街地再開発事業／GREEN SPRINGS／国立競技場／THE HIRAMATSU京都／三栄建設 鉄構事業本部新事務所／ダイヤゲート池袋／谷口吉郎・吉生記念金沢建築館／東京大学総合図書館／東京都公文書館／長野県立美術館／延岡駅周辺整備プロジェクト／Hareza 池袋／横浜市庁舎／早稲田大学37号館 早稲田アリーナ

BCS賞は、建築の事業企画・計画・設計・施工、環境とともに、供用開始後1年以上にわたる建築物の運用・維持管理等を含めた総合評価に基づいて選考し、建築主・設計者・施工者の三者を表彰する建築賞です。この賞は、1960年にはじまり2022年で63回を数えました。